



夢風

YUMEKAZE

第105号（平成30年度 No.3）



みなさん、夢風ようこそ。

今号では、6月5日（火）から雨天順延を挟み3日間の日程で行われた学校祭についてお伝えします。



「夢風」はWeb ページでも発信しています。 <http://www.toyotahigashi-h.aichi-c.ed.jp>



ニュース

News



● 1日目（3年生舞台発表、文化部舞台発表）

1日目は、今年度の学校祭テーマ「GUTS！青春を駆け抜けろ」のもとで、まさに生徒たちの熱い思いがステージの上を駆け巡っていました。

華やかな浴衣に身を包んだ箏曲部員の幻想的な演奏から始まり、3年生のアイデアと工夫が凝らされた演劇がクラス毎に披露されました。優勝は3年1組（音楽・美術・服飾プラン）の「ディセンダント」で、それぞれのプランの特性を活かした完成度の高い演技構成で鑑賞者を魅了していました（上写真）。



演目の中間で吹奏楽部の演奏があり、ジブリ作品のメロデーで聴衆の心をつかみ、ラストの「宝島」では体育館全体が一体となる盛り上がりを見せました。

舞台発表の最後は合唱部で、女子部員の調和のとれた美しい歌声と1名ながら

全体を支える男子部員の低音とが一体となり重厚感のあるハーモニーを奏でていました。



● 2日目（1・2年生クラス発表、文化部・委員会発表、有志発表、芸術鑑賞会）



午前は、1・2年生のクラス企画、文化部や委員会の企画発表でした。1年生による展示部門は流行の「映え」を意識した企画で、2年生によるイベント部門は各クラスの工夫を凝らした企画で、それぞれお客さんを楽しませていました。また、各部活動の作品やおもてなしには、日頃の真摯な取組が感じられました。オ



ーディションを勝ち抜いた

6組による有志発表では、ダンスやバンド演奏、エレクトーン独奏など個性が存分に発揮されたパフォーマンスを、観客も手拍子や声援で盛り上げました。授業やクラスで見るのとは一味違う生徒の個性が、学校祭を賑わせていました。

午後の芸術鑑賞会は、「平尾カンパニー」の皆さんによる「THE MUSICAL」を楽しみました。プロの圧倒的な声量と演技力と生演奏により一瞬でその世界へ引き込まれてしまい、最後は手拍子で会場が一体となって盛り上がりました。

● 3日目(体育的行事)

雨天のため翌日に順延し、当日も天候が不安視されましたが、全プログラムを実施できました。全校生徒が橙、緑、紫、青、赤、黄の6団に分かれ、応援や競技の優勝を目指して競いました。

毎日、昼休みに中庭に集まって練習を重ねた応援アピールは、どの団もお腹の底から思い切り声を出し、迫力ある応援を披露してくれました。団カラーの軍手と小旗を使って息の合ったアピールをした橙団が応援優勝を勝ち取りました。



総合優勝を獲得した黄団団長は、「みんなのおかげで総合優勝できました。黄団全員、いい波乗ってたね!」と喜びを爆発させていました。



閉会式で生徒会長が挨拶したように、学校祭のために協力し合って頑張ったことを忘れず、これからの学校生活を過ごしてほしいと思います。全校生徒が輝く3日間でした。



United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization



UNESCO Associated Schools

豊田東高校は、ユネスコスクールに加盟し、
ESD(持続可能な開発のための教育)を推進しています。